

中 部 N O W

公益財団法人オイスカ 愛知県支部・センター会報

第301号

令和2年4月号

発行:(公財)オイスカ中部日本研修センター

〒470-0328 豊田市勤八町勤八27-56

TEL 0565-42-1101 FAX 0565-42-1103

E-mail: chubu@oisca.org http://www.oisca.org/



オイスカ三重推協パラワン交流の旅

新型コロナウイルス拡大の安全性を確認後、3月1日から5日までフィリピンのパラワン島に向かいました。乗継ぎ時間も含め10時間弱の空の旅です。

真夏の太陽の下、二つの国立高校で子供達と記念植樹を行い、地元の女性町長を表敬訪問し、オイスカセンターでランチをいただき交流しました。高校では、カラフルな衣装と様々な民族舞踊で厚い歓迎を受けましたが、軽快に踊る子供たちの顔はくったくのない笑顔に溢れ輝いていたのが印象的でした。私達から見れば、インフラが遅れ貧しい生活の中でも、彼らには未来に夢があるのが伝わってきました。

パラワン島には美しい海と自然が溢れ、世界遺産でもある「ペルト・プリンセナ地下河川国立公園」が、何万年にも亘る素晴らしい自然の造形美を余すところなく見せてくれます。最後の夜、現地のオイスカOB達との懇親会では、身ぶり手ぶりでお互いの心が通じ合ったひと時を共有でき、今回の旅に心より感謝いたします。

オイスカ三重推協幹事 松岡美江子(筆)



コラム

会員・支援者の皆様、日頃はオイスカご支援をいただき大変ありがとうございます。新型コロナウイルスの関係で、3月・4月のセンター主催行事は全て中止となりました。4月入国予定の技能生も飛行機が運休で来日の目途がつきません。

残念な限りですが、2月・3月に基礎研修を修了した技能生たちは、無事事業所へ移動配属され、新しいスタートを切りました。研修生達は基礎研修が終わり、いよいよ農場での研修が始まりました。来日して2か月。彼らの顔つきも明るく引き締まってきました。

さて、2月29日に「オイスカ普及拡大の集い」が開催されたわけですが、発起人のお一人であります八木哲也先生(環境大臣政務官)のご挨拶が印象的でした。「1年後を楽しむなら花を植えよ。10年後を楽しむなら木を植えよ。100年後を楽しむなら人を育てよ」という言葉です。花をお米や野菜に替えてみると、オイスカの活動は1年後の収穫を楽しむに、人類の生存根本産業ともいえるお米や野菜を育て、10年・50年後を見据えて植林をし、100年後、世界が恐怖や不安のない豊かな社会が実現できるようひたすら人づくりのための研修を続けてきたといえるでしょう。

先日、本部の吉田部長が海外研修生OBの活躍について報告してくれました。トヨタファームの技能実習生がミャンマーへ帰国後、豚の人工授精に成功し、村中から感謝されていること、海岸浸食が進むインドネシアジャワ島の学校の教室まで海水が浸水している地域でマングロープの植林を手掛け、海から村を守ったOB研修生。フィリピンのほげ山を山火事と闘いながら何千haを豊かな森に再生させたOB研修生。日本で学んだ研修生たちが、世界を舞台に「地上の星」として活躍していることを知り、胸が熱くなりました。

人は城、人は石垣、人は堀。会員の皆様のご支援をバックに、一人でも多くのオイスカマンを世界に輩出していく。中部日本研修センターの存在意義はここにあると思います。

技能実習生及び農業研修生修了式

3月23日(月)・30日(月)埼玉ダイハツ(株)2名、滋賀ダイハツ(株)4名、ヤナギサワ自動車販売(株)1名、トヨタファーム2名、ヤスキ建設(株)1名、(有)ワイルドグース1名の技能実習修了式及び基礎研修修了式が執り行われました。式には3年間レズワンをご指導して下さった、ヤナギサワ自動車販売(株)の竹尾司様にもご出席頂きました。このご時世ですので、全員マスク着用という異様な光景での修了式となりました。

オイスカの農業研修生は国で日本語を勉強せず日本にきます。入国した時はひらがなも読めず、スタッフの日本語は全く通じないという状態でした。また、自国と日本の違いに戸惑っていましたが、2か月間、毎日ボランティアの先生方に日本語のご指導を頂き、今では日本の生活にも慣れ、日本語も少し話せるようになりました。これからは実際に農場に出て研修を行います。技能実習生はそれぞれの会社で3年間研修を行います。皆様これからお世話になります。宜しくお願い致します。



滋賀ダイハツ(株)・埼玉ダイハツ(株)技能実習生修了式



技能実習生・農業研修生修了式

中村仁美(筆)

基礎研修を修了した技能研修生の感想文



シャズワン
(滋賀ダイハツ(株)
技能実習生)

私は小さいとき両親から日本の物は良いと聞いていました。だからお金があるときも耐久性の良い日本製を買っていました。日本人の働き方が良いから良い製品が出来るのだろうと思う、いつか日本で働きたいと思うようになりました。

マレーシアで日本語の勉強してからダイハツの面接を受けました。お蔭様で日本に来ることができました。日本に来てまずびっくりしたのは道路の状態です。初めて空港から車に乗った時、マレーシアより道路が狭いと思いました。しかし、きれいに舗装されています。マレーシアの道路は広いですが整備されていないところがたくさんあるので事故が多いです。

日本に来てから2ヶ月間、オイスカで毎日日本語を勉強したり、漢字の書き方を習ったり、日本文化を体験したりしました。先生方には本当に感謝しています。今しなければならぬことを完璧にしたら、新しいことにも挑戦できると思います。

これから滋賀ダイハツで働きます。新しいことにチャレンジするためにいつも頑張らなければならないと思います。仕事だけでなく日本語と日本の文化も学んでいきたいです。日本で一生懸命がんばります。



アリフ
(埼玉ダイハツ(株)
技能実習生)

日本に来たとき、日本人はやさしくないというイメージを持っていました。忙しいので自分の用事を終えると、次へと動きます。それで、日本人は思いやりがないと思っていました。

‘Don’t judge a book by its cover.’といいますが、日本に来てからオイスカ中部センターで日本語を勉強したり日本文化を体験したりして、大切なことをいろいろ学ばせていただきました。時間や規則を守ること、自分から進んで行動したり他の人に親切にすることなどです。良い勉強でした。実はイスラムでもこれらの教えがあります。他の人に親切にすることは本当は自分にも良いことをしているんだと、偉いイスラムの宗教家が言っていました。

私は埼玉ダイハツで働きます。遠いのでまだご挨拶に行っていませんが、メールで挨拶をしました。会社に入っても一生懸命頑張りたいと思います。

中部センター着任のご挨拶



オイスカ西日本研修センターで6年間弱、企業内転勤のフィリピン人のティム・リナです。ニックネームはリナです。3月29日、愛知県に来て、これからお世話になると思いますがこれからよろしくお願いします。

私は1995年～1996年、オイスカ本部の家政科研修生で、1998年～2005年、本部でオイスカの最初の企業内転勤でした。2005年～2015年、マニラ事務所のスタッフで、2015年7月～2020年3月、西日本の企業内転勤で啓発部の広報アシスタントの仕事をしました。

年を取っていますが明るく元気で頑張りますのでこれからもよろしくお願いします。



安部さん四国センターへ異動のご挨拶



2013年4月に赴任した際には、縁もゆかりもない愛知県へ不安を抱きながら参りましたが、会員の皆様が温かく迎えて下さり、お陰様で7年間を幸せに過ごさせていただきました。

4月からは香川県にある四国研修センター勤務となりますが、世界中のオイスカの仲間が共に活動していると考えると、どこにいても一人ではありません。遠く離れても、一つの空の下、皆様と共に目標に向かって活動したいと思っておりますので、今後もよろしくお願い申し上げます。ありがとうございました！

3月研修生の活動 筑田明生（筆）



近隣農家のブドウ園でビニール張りの手伝い。



休憩時間に沢山のおやつを頂きました。



サニーレタスの定植。白菜を植えましたが、虫にやられて全滅したので植え替えました。



トマトの移植。夏野菜の準備が始まっています。

行事予定表

新型コロナウイルスのため予定しておりました、4月5月の行事を取りやめさせていただきます。皆様にお詫び申し上げますと同時にご健康を祈り申し上げます。

中止となる行事

第104期国際青年養成講座

4月6日～4月11日

更新会員名簿(675/851)

岡崎(20/38)伊藤治男
蒲郡(8/9)株式会社 小田電設、有限会社 香ノ木商事、蒲郡信用金庫、新実祥悟、自由民主党愛知第十四選挙区支部、蒲郡市役所、飛田常年、株式会社 大國屋
豊田(192/259) 大久保雅弘、木村初恵、中山純二、野中慎吾、牧口 成美、小杉裕一郎、小野電気 株式会社、株式会社 名鉄トヨタホテル
名古屋(71/64) 鹿沼 宏、永田健次
丹羽(46/66) 松浦邦彦
西尾(38/48) 株式会社 クロト
センター(30/42) 高山亜美、久代利通
(2月末までの入金分)

寄付金

豊田市自主研究グループ(音楽(豊田市))
株式会社 ダイデン(北名古屋市)
リネットジャパングループ 株式会社(大府市)
株式会社 ダイムラック(東海市)
株式会社 三好製作所(みよし市)
塚本隆敏(みよし市)
伊藤安信(みよし市)
鰐部兼道(みよし市)
ゆう農会(豊田市)
三上正(豊田市)
有限会社 豊勝硝子店(豊田市)
小杉裕一郎(豊田市)
金田芳彦(豊田市)
竹中造園土木 株式会社(碧南市)
山守の会(大府市)
富田司(常滑市)
小野伸之(額田郡幸田町)
近藤義広(みよし市)
中村公一(四日市市)
生興 株式会社(東京都中央区)
太田宗一郎(刈谷市)
株式会社 ヤマワ(各務原市)
株式会社 For Nature(名古屋市)
堀井知幸(西尾市)
株式会社 伊藤機工商会(小牧市)
日本ガイシ 株式会社(名古屋市)

ベルマーク
株式会社 豊田自動織機(豊田市)
市協公平(天府市)
トヨタボランティアセンター(豊田市)
生田ふみ(日進市)

寄付品

葵真弓(豊田市)
鈴木康子(豊田市)
シミツ 株式会社(刈谷市)
有限会社 小池牧場(豊田市)
愛知県中央家畜保健衛生所 豊田加茂支所(豊田市)
明保澄雄(岡崎市)
市協公平(大府市)
門池千尋(豊田市)
酒向貞子(豊田市)
小林ひろみ(岡崎市)
大岩千鶴子(豊田市)
加藤みつ子(豊田市)
中野良之(静岡県湖西市)

インクカートリッジ

株式会社 豊田自動織機(豊田市)
生田ふみ(日進市)
酒向貞子(豊田市)
芳川猛(小牧市)
市協公平(大府市)
トヨタボランティアセンター(豊田市)

書き損じはがき

梅村清春(豊田市)
鈴木康子(豊田市)
酒向貞子(豊田市)
市協公平(大府市)
加藤大栖・その子(豊田市)

オイスカ新米の販売

コシヒカリ 減農薬

玄米 (350円/kg)
七分・白米 (400円/kg)

大変おいしくて評判です。

「普及拡大の集い」でスリ兰卡車輛支援

2月29日(土)に実施されました「オイスカ普及拡大の集い」(主管:豊田推協)では新型コロナウイルスの心配がある中、多数の会員・支援者様のご参加をいただきました。当日開催の有無について、主管の豊田推協役員様・名鉄トヨタホテル様による協議が前日まで続き、予防に万全を期す体制を整える前提で実施いただきました。また、皆様からお預かりした当日会費の一部(余剰金)は、スリ兰卡で推進している「子供の森」計画活動で必需品であります車輛購入費(現在使用している車両は走行距離が約70万キロを超えており、限界状態)としてご寄付をいただきましたので、報告させていただきます。豊田推協様はじめ、参加いただきました皆様のご支援に心から感謝申し上げます。

小杉裕一郎(筆)